

2023年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2024年2月26日（月）10時

議題

議題1. 2023年度事業報告	2
(1) 東北支部理事会の開催	2
(2) 東北支部だより発行	2
(3) 東北支部気象講演会	2
(4) 東北支部気象研究会	2
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）	3
(6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦	3
議題2. 2023年度会計報告（2024年2月22日時点）	4
議題3. 2023年度会計監査報告（2024年2月22日時点）	5
議題4. 2024年度事業計画案	6
(1) 東北支部理事会の開催	6
(2) 東北支部だより発行	6
(3) 東北支部気象講演会	6
(4) 東北支部気象研究会	7
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）	7
(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦	8
(7) 第34期役員選挙	8
議題5. 2024年度予算案	9
議題6. 支部長会議報告	10
議題7. 検討事項	10
(1) 支部事務局の今後の運営と、支部として維持・発展させていくべき活動について	10
議題8. その他（事務局から）	12
① 東北支部会員数（個人会員）	12
② 旅費等について	12
③ 2022年度会計報告の訂正	13
日本気象学会東北支部第33期2023年度役員名簿	15
日本気象学会東北支部規則	16
日本気象学会東北支部細則	18

議題 1. 2023 年度事業報告

(1) 東北支部理事会の開催

- ・ 第 1 回（対面とオンラインのハイブリッド開催 2023年7月4日）
- ・ 第 2 回（オンライン開催 2024年2月26日）

(2) 東北支部だより発行

■ 第97号（2023年10月発行）

- ・ TOPIC 古気候分野におけるデータ同化利用：岡崎 淳史（弘前大学）
- ・ 2022年度 日本気象学会東北支部第 2 回理事会 議事抄録
- ・ 2023年度 日本気象学会東北支部第 1 回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 第 11 回気象サイエンスカフェ東北の開催について
- ・ 事務局からのお知らせ

■ 第98号（2024年3月発行予定）

- ・ TOPIC1 気象台の地域防災支援への取り組み：細見卓也（仙台管区気象台気象防災部長）
- ・ TOPIC2 日本気象学会 2023 年度秋季大会の報告：伊藤純至（日本気象学会 2023 年度秋季大会事務局長）
- ・ 報告 1 2023 年度 日本気象学会東北支部 気象講演会 秋田地方気象台
- ・ 報告 2 第 11 回気象サイエンスカフェ東北開催の報告：杉山公利（日本気象予報士会東北支部長）
- ・ 事務局からのお知らせ

(3) 東北支部気象講演会

日 時：2023年11月18日（土）13時30分～16時00分

会 場：秋田県社会福祉会館

テーマ：「秋田県の農業・水資源の未来と相次ぐ大雨災害から地球温暖化を理解する」

講演者：増本 隆夫 氏（公立大学法人秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科教授）

廣川 康隆 氏（気象庁気象研究所台風・災害気象研究部第二研究室主任研究官）

参加者：会場参加 約70名

(4) 東北支部気象研究会

2023年度秋季大会開催のため、気象研究会については中止とした。

(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

日 時：令和5年12月2日（土）13時30分～15時30分

会 場：せんだい環境学習館「たまきさんサロン」

テーマ：地球温暖化のいま～もっと知ってほしい温暖化の問題～

話題提供者：仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課

中川憲一地球温暖化情報官

参加者：14名

共 催：日本気象学会東北支部、日本気象予報士会東北支部、せんだい環境
学習館「たまきさんサロン」

(6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

議題2. 2023年度会計報告（2024年2月22日時点）

〔支部一般会計〕（2023年4月1日～2024年2月22日）（マイナスの金額には、△印を付した。）

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金			
一般交付金(仮名)	560,000円	560,000円	0円
普及啓発活動への助成	40,000円	40,000円	0円
気象予報士会東北支部分担金	10,000円	*110,000円	0円
前期繰越金	120,071円	120,071円	0円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	5円	3円	2円
事業活動収入計(1)	730,076円	730,074円	2円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000円	238,827円	11,173円
支部気象研究会	0円	0円	0円
支部だより	200,000円	*2307,978円	△107,978円
気象サイエンスカフェ東北	60,000円	2,522円	57,478円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	85,000円	18,847円	66,153円
支部役員選挙	0円	0円	0円
事務費	10,000円	0円	10,000円
事業活動支出計(2)	620,000円	583,174円	36,826円
III 予備費支出			
予備費支出	110,076円	0円	110,076円
予備費支出計(3)	110,076円	0円	110,076円
当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	146,900円	
次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)	0円	146,900円	

*12023年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*22023年度に発行された東北支部だより96号の印刷代が含まれる。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業（支出予定）が残っているもの。

議題3. 2023年度会計監査報告(2024年2月22日時点)

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2024年 2月22日

日本気象学会東北支部会計監査

齊藤 重隆 

議題4. 2024年度事業計画案

(1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回（5～6月、2～3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

(2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第99号、100号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2023年度と同様に業者発注とする。

(3) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定
会 場：未定
テーマ：未定

- ・2024年度は山形県で開催予定、テーマ等は未定。今後準備を進めていく。

2010年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2010年度	秋田市	栗田 邦明 (秋田地方気象台)	佐藤 威 (雪氷防災研究センター)	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹 (東北大学)	神田 英司 (東北農業研究センター)	
2012年度	山形市	阿部 修 (雪氷防災研究センター)	柳澤 文孝 (山形大学)	
2013年度	弘前市	楠 研一 (気象研究所)	児玉 安正 (弘前大学)	
2014年度	福島市	渡邊 明 (福島大学)	小畑 英樹 (福島地方気象台)	
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹 (東北大学)	小森 大輔 (東北大学)	廣川 康隆 (仙台管区気象台)
2016年度	盛岡市	山本 浩之 (福島大学)	名越 利幸 (岩手大学)	

2017年度	秋田市	和田 幸一郎 (秋田地方気象台)	本谷 研 (秋田大学)	
2018年度	山形市	小杉 健二 (新庄雪氷実験所)	川瀬 宏明 (気象研究所)	
2019年度	弘前市	加藤 輝之 (気象大学校)	木所 英昭 (東北区水産研究所)	
2020年度	仙台市 (web開催)	岩井 弘樹 (仙台管区気象台)	早坂 忠裕 (東北大学)	
2021年度	福島市 (web開催とのハイブリッド)	小野寺 晃一 (福島地方気象台)	安達 義輝 (福島県農業総合センター)	吉田 龍平 (福島大学)
2022年度	盛岡市 (web開催とのハイブリッド)	ト部 佑介 (仙台管区気象台)	晴山 久美子 (岩手県)	
2023年度	秋田市	増本 隆夫 (秋田県立大学)	廣川 康隆 (気象研究所)	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

(4) 東北支部気象研究会

2024年度の開催については、仙台管区気象台 地域防災推進課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第12回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

(7) 第34期役員選挙

第33期役員の任期満了に伴い、2024年春に第34期役員選挙を執り行う。なお選挙管理人は、岩淵幹事にご担当いただく予定である。

(日程概要)

- ・3月下旬：選挙告示を会員宛に発送（郵便またはメール）
- ・4月中旬：立候補者受付締切（予定：4月19日（金））
- ・4月下旬：投票用紙を会員宛に発送（郵便）
- ・5月中旬：投票締切（予定：5月20日（月））
- ・5月下旬：開票・当選者確定
- ・6月頃：2024年度第1回理事会にて報告・当選者公示（支部だより第99号にて掲示）

議題5. 2024年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2024年度 予算額	2023年度 予算額	予算増減額 [2024年—2023年]	2023年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金				
一般交付金(仮名)	*1560,000円	*1560,000円	0円	560,000円
普及啓発活動への助成	*140,000円	*140,000円	0円	40,000円
減額分(前期繰越金)	△146,900円	0円	△146,900円	0円
気象予報士会東北支部分担金	*210,000円	*210,000円	0円	10,000円
前期繰越金	*3146,900円	120,071円	26,829円	120,071円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	5円	5円	0円	3円
事業活動収入計(1)	610,005円	730,076円	△120,071円	730,074円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	200,000円	250,000円	△50,000円	238,827円
支部気象研究会	50,000円	0円	50,000円	0円
支部だより	200,000円	200,000円	0円	307,978円
気象サイエンスカフェ東北	50,000円	60,000円	△10,000円	2,522円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	50,000円	85,000円	△35,000円	18,847円
支部役員選挙	30,000円	0円	30,000円	0円
事務費	10,000円	10,000円	0円	0円
事業活動支出計(2)	605,000円	620,000円	△15,000円	583,174円
III 予備費支出				
予備費支出	5,005円	110,076円	△105,071円	円
予備費支出計(3)	5,005円	110,076円	△105,071円	円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	0円

*1一般交付金は、前年度と同様の金額を見込む。

*22024年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*3 想定される繰越額は暫定。2/22時点での収支差額を予備費の支出項に暫定的に入れている。

黄色塗りつぶしは、2023年度まだ事業(支出予定)が残っているもの(2023年度決算額)、それに伴い確定されないもの(2024年度予算額・予算増減額)。

議題6. 支部長会議報告

日時：令和6年2月2日(金) 13時～15時

場所：オンライン

出席：本部理事、各支部長等

○概要

・3つの議題（①2023年度支部活動報告・2024年度支部活動計画、②秋季大会の取組状況、③その他「今後の気象学会の大会のあり方について」）についてそれぞれ議論した。

・はじめに、③その他のうち「今後の気象学会の大会のあり方について」について、大会のあり方に関する検討WG（早坂本部理事担当）から、春季大会をJpGUとの共催、秋季大会を地方含む持ち回りのハイブリッド開催とし、地方大会の事務局運営についても見直す方向で検討を進めているとの中間報告案の説明があった。これについて理事長から、各支部がどのような支部事務局の運営形態を望むか、またできそうか、さらにどのような支部活動を維持・発展させていきたいか意見を上げることを求められた。

・①支部活動報告等では、当支部の報告の際に、秋田市での気象講演会について、オンライン配信希望がなかったか質問があり、今回は対面のみだったが一部の参加者からオンライン希望の声もあった旨を回答した。

・②秋季大会取組状況では、2025年度秋季大会の九州支部から、実行委員としては仙台と同じような人数を考えている旨報告があり、秋季大会予算案についても詳細な予算案の提示があった。

・また教育と普及委員会（竹村理事）から、本部・支部の行事日程が重複しないよう事前に情報共有して調整したい、また地方での行事も学会の広報HP・Xで宣伝できるので（榎本本部理事担当）活用して欲しいとの発言があった。

議題7. 検討事項

（1）支部事務局の今後の運営と、支部として維持・発展させていくべき活動について

支部長会議(2/2)で、大会のあり方に関するWGの中間報告案が示される一方、管区气象台等が担当してきた支部事務局とりまとめについての気象庁側の方針が、概要以下の通り、本年1月末に理事長に説明されている。これらを受けて、東北支部各役員のご意見を伺いたい。

<気象庁から気象学会への説明概要>

1. 日本気象学会支部事務局について

気象庁においては、支部事務局事務は気象庁業務として位置づけられていないため、气象台の担当職員は無報酬兼業許可を得て学会員として事務を行っている。時間的・経済的な負担が大きい。

2. 気象庁と学会の連携の変化

本庁や気象研究所等（中央）においては学術に関する連携、気象台（地方）においては普及啓発や人材育成に関する連携へと、中央と地方の連携の役割が変化しているものの、気象庁と学会との連携は気象業務の発展に重要である。

3. 気象台による支部事務局担当の意義

学会は、かつての気象台を中心とした組織から、学を中心とする組織に変わっており、その中で気象台が支部事務局を担当する意義が薄れてきた。また、業務体制移行に伴う事務の必要性、近年の働き方や担当者の負担の観点から、支部事務局の事務を気象庁業務、もしくは気象庁業務に密接に関連する事務として認めることは難しくなっており、気象台による支部事務局を解消することが望ましい。

その上で、気象台は、「学を中心とした支部」との連携が重要と考えられる取り組み（地区研究会、若手技術力向上、サイエンスカフェ、リクルート活動、気象情報利活用等）について、気象庁業務として、支部と連携して進めることが望ましい。

4. 今後の気象庁と学会の連携のあり方

これらを踏まえ、気象庁から学会に対して、中央と地方における連携の違いを踏まえたより良い連携のあり方（支部事務局の解消を含む）を整理・検討することを提案したい。

議題8. その他（事務局から）

① 東北支部会員数（個人会員）

2024年2月22日現在

県名	会員数	2023. 06. 26
青森県	18名	20名
岩手県	10名	11名
秋田県	12名	14名
山形県	10名	11名
宮城県	72名	77名
福島県	22名	23名
合 計	144名	156名

12名減

支部メーリングリスト登録者数

2024年2月22日現在

県名	登録者数	2023. 06. 26
青森県	17名	19名
岩手県	7名	8名
秋田県	12名	12名
山形県	8名	9名
宮城県	71名	74名
福島県	18名	19名
合 計	133名	141名

8名減

②旅費等について

交通費については

青森は 22,900円 [11,420円×2]

弘前は 23,300円 [11,640円×2]

秋田は 21,100円 [10,560円×2]

盛岡は 13,600円 [6,790円×2]

山形は 2,400円 [1,170円×2]

福島は 2,700円 [1,340円×2]

仙台、岩沼は片道500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

消費税率引き上げ（2019年10月1日）による運賃・料金の改正を適用。

③2022 年度会計報告の訂正

〔支部一般会計〕（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金			
一般交付金(仮名)	532,400 円	0 円	532,400 円
普及啓発活動への助成	40,000 円	0 円	40,000 円
気象予報士会東北支部分担金	20,000 円	0 円	20,000 円
前期繰越金	440,089 円	440,089 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	5 円	5 円	0 円
事業活動収入計(1)	1,032,494 円	440,094 円	592,400 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000 円	167,240 円	82,760 円
支部気象研究会	100,000 円	12,636 円	87,364 円
支部だより	200,000 円	*199,990 円	100,010 円
気象サイエンスカフェ東北	60,000 円	0 円	60,000 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	85,000 円	0 円	85,000 円
支部役員選挙	30,000 円	24,757 円	5,243 円
事務費	10,000 円	0 円	10,000 円
事業活動支出計(2)	750,000 円	319,623 円	430,377 円
III 予備費支出			
予備費支出	282,494 円	400 円	282,094 円
予備費支出計(3)	282,494 円	400 円	282,094 円
当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	120,071 円	
次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)	0 円	120,071 円	

*1 東北支部だより96号印刷代について、2023年4月20日支払いのため、同印刷代（99,990円）分の支出について2023年度会計へ入れたことによる訂正。

黄色塗りつぶしは、本訂正により金額が変化した部分。

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2024年 2月22日

日本気象学会東北支部会計監査

齊藤重隆 

日本気象学会東北支部第 33 期 2023 年度役員名簿

2024 年 2 月 26 日現在

支部長	小出 寛	仙台管区気象台長
常任理事	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	細見 卓也	仙台管区気象台気象防災部長
	中野 裕	日本気象協会東北支社総務課長
	橋本 竜	仙台管区気象台気象防災部予報課長
	森本 真司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
地方理事	山本 佳緒里	秋田地方気象台長
	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
会計監査	齊藤 重隆	仙台管区気象台気象防災部次長
幹事	伊藤 純至	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	蒔苗 仁	仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地域防災対策支援調整官
	中川 憲一	仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地球温暖化情報官
	楠本 絵莉子	仙台管区気象台気象防災部予報課技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正
令和 5. 7. 4	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
(1) 事業計画および収支決算
(2) その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。

付則

第20条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正
令和 1. 7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加

1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上